

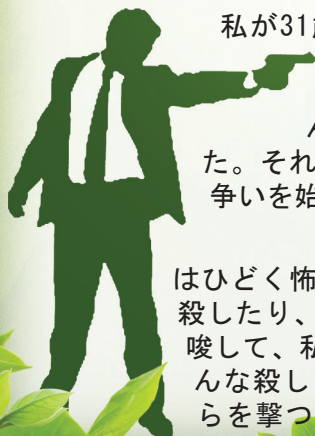
神様の
驚くべき
恵み

神様の驚くべき恵み

私は、14歳になるまでに既にアルコール依存症となり、想像できるあらゆる類の墮落と不道德の中に生きる大酒飲みになっていました。最初は、ウイスキーをスプーンですすることになり、遂には、5ガロン缶（約20リットル）を煽（あお）るまでになりました！



適切なしつけもクリスチャンの規律もなく、私と私の兄弟たちは、野生動物のように成長しました。サタン、即ち「この世の君」の目をくらまして、私は惨めで、利己的、不信心、そして、破壊的な生活を送りました。「人が見て自分で正しいとする道があり、その終りはついに死にいたる道となるものがある。」



私が31歳のとき、私の罪深い生活は頂点に達しました。ある晩、遅く、私はぐでぐでんに酔っぱらって帰宅しました。それから、家の同居人たちと言い争いを始めました。

彼らが私を脅かしたので、私はひどく怖くなりました。「盗んだり、殺したり、滅ぼしたりする」悪魔が私を唆して、私の38口径ピストルで彼らをみんな殺してやれと言いました。私が彼らを撃つと、彼が私を殺すと言いまし

た。それで、私は自分に向けて5回撃ちました。二発は腹に、それから、両肺に向けて一発、そして、もう一発は頭に向けて撃ちました。

突然、明るい光が私を巡り照らしました。そして、強力な風が私の方に吹き付けて来るのが聞こえました。テレビの画面のように、神の御霊が私の幼ない頃からの罪をすべて明らかにしました。

私は失われた罪人であって、「罪の支払う報酬は死である」通り、私は地獄に向かっていることが分かりました。私は魂の中で、地獄の火が燃えているのを感じることができました。その時、御霊が言われました。「主のみ名を呼び求める者は、すべて救われる。」

まだ硝煙の残る銃を手にして、体からは血が噴き出しているまま、私はよろめいて暗闇の中に出て行きながら、「主イエスよ、私を救ってください！」と叫びました。

すると突然、奇妙なことが起こりました。神の御使いたちと悪霊たちの間で激しいバトルが起きているのがはっきり分かったのです。燃える火のような神の御霊が私の上において、アルコールや煙草や不品行、冒とくなどの汚れた霊たちすべてを追い出していました。



イエス・キリストの血が、これらすべての罪から私を洗って下さいました。そして、すばらしい平安と喜びが私の心に溢れました。私は、サタンのパワーによる虞の状態ではなくなって、神の子として「再生」していたのです。

それから、イエス様は御霊によって私を満たして下さいました。そして、新しい未知の言葉による天の賛美が私の口を衝いて流れ出てきました！ その時、私はまだ負傷したまま千鳥足で歩いていたのですが、うっかり、列車の軌道上に落ちてしまいました。血が流れていましたので、身体は寒さで冷たくなってきました。その時、恐ろしいことに、列車が来るのが見えました！

悪魔は私を殺そうとしていましたが、主は、警察官を送って下さり、彼に列車の停止信号を送らせて、奇跡的な方法で私を救って下さいました。警察官はタバコを勧めてくれましたが、今や、ある妙な理由で、私には何か汚いもののように見えました。神様は、私の悪い習慣すべてから私を完全に救い出して、新しい命を私に下さっていたのです。神様の救いの恵みとは、なんと驚くべきものでしょう！



病院に連れて行かれてから、みんな（訳注：5人で）が私たちの命を救おうと全力を尽く



しましたが駄目でした。私たちは、みな死を覚悟しました。それにもかかわらず、主は、数人のクリスチャンを遣わして、彼らは私たちのために祈ってくれました。すると、私たち5人は瞬間的に癒されてしまったのです。イエス様は私たちの魂の救い主であるばかりか、体の癒し主でもあるのです。「イエスはみ言葉をもって霊どもを追い出し、病人をことごとくおいやしになった。」「・・・その傷によって、あなたがたは、いやされたのである。」

神様の道は完全で理解を超えています。彼は小さな雀のことさえも心に留めておられます。ならば、彼に頼るすべての人に対しては、なおさらのことです。

イエス・キリストが私の救い主、私の癒し主となりました。そのすぐ後には、私の「弁護士」にもなられたのです。私の裁判の日に、私は、裁判官の前に無防備のまま立ちました。みんな





なが私と対立していましたが、神様は裁判官の心に触れられました。そして、彼の下した判決は、わずか20年でした。

私は刑務所の鉄格子の内側で時を過ごさなければなりませんでした。私の心は鳥のように自由でした。神様が私を驚異的に変えて下さっていたからです。「・・・すべて罪を犯す者は罪の奴隷である。…」「だから、もし子があなたがたに自由を得させるならば、あなたがたは、ほんとうに自由な者となるのである。」

イエス様についてもっと知りたいという私の切望が私の心にいっぱいになっていました。そこで、私は神様に、私が獄中に居る間、私を助けて下さるようにと祈りました。私が初めて刑務所の独房に入



ったとき、聖霊は2段ベッドの下を見なさいと言われました。



マットレスの下を見ると、びっくりしました。そこには真新しい聖書があったのです。ハレルヤ！ただ一つの問題は、読む方法を一度も学んだことがなかったということでした。しかし、万事をうまくやってくださる神様が、日毎、教え始めて下さいました。

神の言葉を読んでいる間に、ユダヤ人のパリサイ人であるサウロも凄い回心を経験していたことがわかりました。彼は、今日のある人たちのように、イエスが神の御子、キリストであることを信じていませんでした。そこで、彼は宗教的熱心さで、当時の多くのクリスチャンを迫害し殺害しました。

しかし、憐れみに富む神様はこのような人でも救うことができました。また、彼の回心から三日後に（今はパウロとして知られる）サウロが水の中にバプテスマされて、その時、神様が彼を聖霊で満たして下さいました。ですから、この一つの経験が私の回心に欠けていたので、私は喜んで主に従い、



最初の機会に、水の中に浸け込まれるバプテスマを受けました。

獄中で、私は、ラジオの宗教放送をたくさん聞いて、通信教育を受けていろいろ書きましたが、彼らの書籍を学べば学ぶほど、ますます、私は混乱しました。

その時、神様はその本をすべて破りなさい、私自身が教えてあげると言われました。

「けれども真理の御霊が来る時には、あなたがたをあらゆる真理に導いてくれるであろう。」

「あなたがたのうちには、キリストからいただいた油がとどまっているので、だれにも教えてもらう必要はない。この油が、すべてのことをあなたがたに教える。」神の言葉は、日夜、私の喜びとなりました。神の言葉は、私の獄中生活の安らぎと力と導きの源となり、私が聖にして、また勝利の生活を送るのを可能にしました。



キリストの愛に強いられて、他のクリスチャンと一緒にあって、私たちは、仲間の囚人たちに証しをしたり、聖書研究会で教えたり病気の人たちのために祈ったりすることを始めました。多くの迫害を経、何度も命の危険に曝（さら）されることがありましたが、私たちはイエス・キリストの御名を高く挙げ、彼に栄光を帰すことを続けました。

最終的には13年後に、私は品行方正ということで、自由の身となりました。それから、ペテロが牢

から解放された後に祈りのグループのところへ導かれたのと丁度同じように、主は、奇跡的に、私を少数の祈る聖徒たちのところへと導かれました。彼らは主のためにすべてを捨てた人たちでした。



その後まもなく、私もまた、私のためにご自身を十字架上で与えられた主に私の全生涯を捧げました。私はしばしば考えました。「神様はなぜ自分みたいな無価値な者を選んで奉仕をさせなさるのだろう。」

「それなのに神は、知者をはずかしめるために、この世の愚かな者を選び、強い者をはずかしめるために、この世の弱い者を選び、有力な者を無力な者にするために、この世で身分の低い者や軽んじられている者、すなわち、無きに等しい者を、あえて選ばれたのである。」主の言葉が確かに実現しました！



友人の方々、もし神に私みたいな罪人を救うことがおできになるのならば、彼はあなたを救うことができます。だれでも救うことができます。イエス様が全世界の罪のために十字架上で流された血は、今

でも、真心をもって主に来るどんな罪人であっても、洗い清め、解放し、救うことができます。今日という日に、あなたの生涯を主に捧げませんか？ イエス様は、間もなく来られます！ 彼は、その日のため、あなたが聖なる、そして、勝利の生活を送るのを助けることができます。

自然界すべてが私のものであっても、
捧げ物にはあまりにも小さい。

あまりにも驚くべき、
あまりにも神聖なる愛、

それは私の命、私の魂、私のすべてを求める！

今より後、
「わたしにとっては、生きることはキリストであり、死ぬことは益である。」
仕えるために救われた、サミュエル・ドレイン。



祈り： 私のすべての罪を悔い改めます。（あなたの罪を詳細に告白しなさい）

私を赦してください。そして、あなたの御子イエスの血によって私を洗い清めてください。 あなたの聖なる御霊で私に証印を押して、間もなく来られるキリストのための用意をさせてください。 主よ、ありがとうございます！ アーメン。

聖書参照： 箴言14:12、ヨハネ10:10、ロマ6:23、
ロマ10:9-13、ヨハネ3: 3-5、使徒2: 1-4、
1コリ14:2、14:18、マタイ8:16、17、1ペテ2:24、
ヨハネ8:34、36、使徒9:1-20、ヨハネ16:13。
1ヨハネ2:27、使徒12: 1-17、ルカ14: 26-33、
1コリ1:26-29；ピリピ1:21。



